

「海洋基本計画作成への提言」 ～我が国の海の知を世界へ～

総合海洋政策本部
参与会議
平成19年10月18日

平 朝彦

多くの特徴を持つ我が国の周辺海域

- EEZ面積世界第6位
- 海水量にして世界第4位

多様な生態環境
～世界で最も豊かな生物多様性～

黒潮による熱輸送
～気候変動の要～

莫大な海底鉱物資源・
未開発の大水深石油ガス
～資源フロンティアの存在～

世界で最も地震・火山等の
活動が活発な場所

重要性

日本周辺の海洋を知ることは
世界の海洋を知ることになる

海洋の科学知見で世界を先導

サンゴ礁



メタンハイドレート



熱水環境



メタン湧水



昆布の森



研究開発の位置付けと海洋研究拠点の重要性

我が国の深海探査技術は世界をリード

地球深部探査船「ちきゅう」



水深2,500mの深海底から
海底下7,000mを掘削。
人類未到のマントルへの到達
が最終目標。

有人潜水船「しんかい 6500」



世界最高の有人潜水能力

無人探査機「かいこう7000」



世界最高の潜航深度

深海巡航探査機「うらしま」



世界最長の連続航行能力

深海知能ロボット「r2D4」



© 東京大学生産技術研究所 浦研究室
最新鋭の航行型海中ロボット

しかし、資源探査・生産技術全体としては他国に大きな遅れ

我が国は大水深の資源（石油・ガス・鉱物）探査開発技術確立することが急務

重要性

明確な研究開発の位置付けと

それを推進するための海洋研究拠点の構築が必要

海洋基本計画作成への提言

関係省庁

大学

独立行政法人

民間

“ 海洋研究開発拠点 ”
の構築を！

基礎から応用まで幅広い
研究開発能力の強化

研究開発と教育の両輪による
人材育成への取り組み

先端的施設・海洋研究船等の
供用の促進

海洋関連データの集積・統合・発信
を行うナショナルセンターの構築

貢
献

我が国を取り巻く
諸課題に対処

海洋産業の育成を推進

国際協力の推進

国民の海への
理解を増進